



No	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業科目の到達目標	備考	地域・国際対応力	科学的探究力	医療基盤力	総合的診療能力	医療プロフェッショナルリズム	チーム医療力とコミュニケーション能力	自己開発力	
				必修	選択	自由										
30	専門基礎 理系基礎	数学Ⅰ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
31		数学Ⅱ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
32		物理学Ⅰ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
33		物理学Ⅱ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
34		化学Ⅰ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
35		化学Ⅱ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
36		生物学Ⅰ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
37		生物学Ⅱ	1	2		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
38		物理学実験B	1	1		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
39		化学実験B	1	1		自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。			○	○						
		小計(10科目)		18	0	0										
40	教養展開	国際展開科目A1	2	1		国際的に活躍するための教養と技能を習得する。	※1	○	○							
41		国際展開科目A1	3	1		国際的に活躍するための教養と技能を習得する。	※1	○	○							
		小計(2科目)		2	0	0										
		ドイツ語入門	1					○						○		
		フランス語入門	1					○						○		
		中国語入門	1					○						○		
		ハンガール語入門	1					○						○		
		医療環境論	3			・医療に関わる様々な学問分野の視点、基本的用語、概念、方法論を理解する。 ・与えられたテーマ・課題について、自分なりに考察し意見を表明できる。 ・Small group discussion(SGD)を通じて、医療人として共通するもののみかた・考え方を指摘できる。 ・与えられた課題への理解を深めるために、積極的に資料収集できる。 ・毎回出席し、医療系学生としての授業姿勢を保つ。SGDの際には、積極的に参加する。 ・課題完遂を目指してグループメンバーとコミュニケーションを図ることができる。 ・与えられた課題への保健・医療・福祉のアプローチについて説得力のあるプレゼンテーションができる			◎	◎	○		◎	◎		
○		医学専門基礎コース	1・3	3	0	0										
		医学入門1	1	2		1. 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 2. 自らの考えを的確に他の人々に伝えることが可能な日本語の表現(口頭でも文章でも)ができる。 3. 他人の意見に接した際に、その内容を整理し、正確に理解した上で、適切な言葉を用いて(口頭でも文章でも)反応することができる。 4. 限られた時間内に与えられたテーマの日本語の文章を書き上げることができる。 5. ある情報が提示されたときに、その内容を正確な言葉を用いて日本語の文章にまとめ上げることができる。 6. 医学を学ぶことの意義を述べることができる。 7. 小グループでの議論において、他者の意見を聞き、自分の意見を述べるができる。 8. 小グループでKJ法を用いたアイデアの分類・整理し結果をプレゼンテーションすることができる。			10	10	10	10	20	20	20	
		医学入門2	1	2		1. 患者の心理的および社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 2. 患者のプライバシーに配慮し、患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 3. 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 4. 小グループでの議論において、他者の意見を聞き、自分の意見を述べるができる。 5. 小グループでKJ法を用いたアイデアの分類・整理し、プレゼンテーションすることができる。 6. 病院での医療従事者の業務を理解し、医療現場におけるコミュニケーション能力と共感能力の重要性を具体例を用いて説明できる。 7. 解剖実習に参加し、解剖実習の意義と必要性を述べることができる。 8. 高齢者施設のあり方について自分の意見を持った上で、高齢者施設の中で簡単な介助を行うことができる。			20	5	10	5	20	20	20	
		医療人類学	1					○	○	○			○			
		行動科学	1					○	○	○			○			
		医学史	1					○	○	○			○			
		医学英語1a	2					◎	○	○			◎	○		
		医学英語1b	3					◎	○	○			◎	○		
		医学英語2	4・5					◎	○	○			◎	○		
		医療倫理・キャリア序説	2	1		1. 医療倫理の歴史的な流れを概説できる。 2. 臨床倫理の歴史的な流れを概説できる。 3. 患者の基本的権利を概説できる。 4. 患者の自己決定権を概説できる。 5. 臨床諸領域における代表的な倫理問題を概説できる。 6. 倫理問題に対する解決法を4分割表を用いて概説できる。 7. キャリア形成のあり方について概説できる。 8. 医学分野以外の領域の理解に役立てることができる。 9. 物事を総合的・俯瞰的に捉えることができる。 10. 文理横断型の学習に役立てることができる。			10	10	10		30	30	10	



No	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業科目の到達目標	備考	地域・国際対応力	科学的探究力	医療基盤力	総合的診療能力	医療プロフェッショナルリズム	チーム医療力とコミュニケーション能力	自己開発力
				必修	選択	自由									
		外皮筋骨格系	2	1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体を構成する骨の名称を挙げ、肉眼レベルで形態的特徴を説明できる。</li> <li>2. 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。</li> <li>3. 骨・軟骨・関節・靭帯・腱の組織形態と機能を説明できる。</li> <li>4. 人体を構成する筋の名称を挙げ、肉眼レベルで形態的特徴を説明できる。</li> <li>5. 筋・筋紡錘・腱器官の組織形態と筋の収縮メカニズムについて説明できる。</li> <li>6. 皮膚の組織構造を図示して説明できる。</li> <li>7. 皮膚の細胞動態と角化、メラニン色素沈着等の機構を説明できる。</li> </ol>			30	60					10
		循環・呼吸器系	2	1.3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 循環器系を構成する器官と、各器官の微細構造について説明できる。</li> <li>2. 呼吸器系を構成する器官と、各器官の微細構造について説明できる。</li> <li>3. 循環・呼吸器系の形成過程について、説明できる。</li> <li>4. 換気、拡散、肺循環、呼吸調節について、呼吸生理学の観点から説明できる。</li> <li>5. 血液中の酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みについて、説明できる。</li> <li>6. 心臓の電気的特性について、説明できる。</li> <li>7. 心臓の力学的特性について、説明できる。</li> <li>8. 脈管系における循環とその調節機構について説明できる。</li> <li>9. 循環・呼吸器系の主な疾患の病態について、構造や機能の異常と関連づけて説明できる。</li> </ol>			30	60					10
		消化器系	2	0.8		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器系臓器の位置、形態と支配血管を図示できる。</li> <li>2. 消化管各部の組織構造の共通点と違いを説明できる。</li> <li>3. 消化管付属腺の組織と機能を説明できる。</li> <li>4. 消化管運動と自律神経による制御を説明できる。</li> <li>5. 消化管における消化・吸収と吸収した物質の輸送経路を説明できる。</li> </ol>			30	60					10
		泌尿・生殖系	2	1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 腎・尿路系臓器の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。</li> <li>2. 腎の組織構造と尿産生の機序について説明できる。</li> <li>3. 体液量および組成・浸透圧の調節と腎機能との関係を説明できる。</li> <li>4. 蓄尿の機序を説明できる。</li> <li>5. 男性生殖器の形態と機能を説明できる。</li> <li>6. 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。</li> <li>7. 勃起・射精の機序を説明できる。</li> <li>8. 女性生殖器の形態と機能を説明できる。</li> <li>9. 性周期発現と排卵の機序を説明できる。</li> </ol>			30	60				10	
		肉眼解剖学実習	2	3.5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 皮膚・筋・骨格・末梢神経系の肉眼解剖学的剖出と構造観察、形態・機能の統合的説明ができる。</li> <li>2. 循環器系臓器の肉眼解剖学的剖出と構造観察、形態・機能の統合的説明ができる。</li> <li>3. 呼吸器系臓器の肉眼解剖学的剖出と構造観察、形態・機能の統合的説明ができる。</li> <li>4. 消化器系臓器の肉眼解剖学的剖出と構造観察、形態・機能の統合的説明ができる。</li> <li>5. 泌尿・生殖系臓器の肉眼解剖学的剖出と構造観察、形態・機能の統合的説明ができる。</li> <li>6. 内分泌系臓器の肉眼解剖学的剖出と構造観察、形態・機能の統合的説明ができる。</li> <li>7. 免疫・リンパ系臓器の肉眼解剖学的剖出と構造観察、形態・機能の統合的説明ができる。</li> </ol>			20	50	10	10	10	10	
		組織学実習	2	1.4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 光学顕微鏡が正しく操作できる。</li> <li>2. 生体組織標本を的確に扱うことができる。</li> <li>3. 生体組織の形態的・構造的特徴を手描きスケッチ、電子スケッチと簡潔な文章によって表現することができる。</li> <li>4. 組織標本を示して解説することができる。</li> <li>5. 各器官系の臓器が持つ細胞及び組織構築の特徴を図示し、説明できる。</li> <li>6. 各器官系の臓器の機能について、細胞および組織学構造を関連づけることができる。</li> <li>7. 組織標本または組織の画像を観察し、その臓器を判別できる。</li> <li>8. 組織標本から課題を見出し解決方法を見出すことができる。</li> <li>9. 観察所見をもとに調べたことを蓄積し、ポートフォリオとしてまとめることができる。</li> </ol>			20	40	10	10	10	10	
		統合組織学演習	2	1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織標本または組織の画像を観察し、その臓器を鑑別し、説明できる。</li> <li>2. 人体の生理的システムに属する各臓器の機能について、組織学的関連を説明できる。</li> <li>3. 組織・細胞の構造的特徴を、人体の生理的・生化学の知見に関連付けて説明できる。</li> <li>4. 組織所見に関する疑問点や学習課題を自ら発見することができる。</li> <li>5. 課題の解決方法のために自学自習とグループ学習をすることができる。</li> <li>6. 疑問点や学習課題をわかりやすくプレゼンテーションできる。</li> </ol>			20	40	10	10	10	10	
○		人体器官医学コース	2	10	0	0									
		血液・免疫系	2	1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生体防御機構の系統発生と個体発生を概説できる。</li> <li>2. 生体の非特異的防御機構を説明できる。</li> <li>3. 特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。</li> <li>4. 生体防御機構における免疫系の特徴（特異性、多様性、寛容、記憶）を説明できる。</li> <li>5. がん免疫に関わる細胞性機序を概説できる。</li> <li>6. 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。</li> <li>7. 白血球の種類と機能を説明できる。</li> </ol>			30	60				10	

No	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業科目の到達目標	備考	地域・国際対応力	科学的探究力	医療基盤力	総合的診療能力	医療プロフェッショナルリズム	チーム医療力とコミュニケーション能力	自己開発力	
				必修	選択	自由										
		内分泌系	2	0.5			1. 視床下部と下垂体の構造、分泌されるホルモンの作用と分泌調節を説明できる。 2. 甲状腺と副甲状腺から分泌されるホルモンの作用と分泌調節を説明できる。 3. 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節を説明できる。 4. 膵島の構造と分泌されるホルモンの作用を説明できる。 5. 乳汁分泌に関わるホルモンの作用を説明できる。 6. 卵巣の構造、性周期発現と排卵の機序、女性ホルモンの作用を説明できる。 7. 精巣の組織構造、男性ホルモンの作用と分泌調節を説明できる。			30	60					10
		感覚器・末梢神経系	2	0.5			1. 皮膚感覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。 2. 眼球および視覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。 3. 外耳・中耳・内耳（聴覚・平衡系）について、構造と機能を統合的に説明できる。 4. 嗅覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。 5. 味覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。 6. 脊髄神経系（自律神経系を含む）について、構造と機能を統合的に説明できる。 7. 脳神経系（自律神経系を含む）について、構造と機能を統合的に説明できる。			30	60					10
		中枢神経系	2	1			1. 脊髄の構造、機能と伝導路を説明できる。 2. 脳幹の構造、機能と伝導路を説明できる。 3. 大脳皮質の構造と機能局在を説明できる。 4. 小脳の構造と機能を概説できる。 5. 視床の構造と機能を概説できる。 6. 大脳基底核（線条体、淡蒼球、黒質）の線維結合と機能を概説できる。 7. 大脳辺縁系の構造と機能を自律機能や高次機能と関連づけて概説できる。 8. 視床下部の構造と機能を自律機能と関連づけて概説できる。			30	60					10
		脳実習	2	0.5			1. 脳膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 2. 脳の血管支配と主なる病変（出血・梗塞・脳動脈瘤）を説明できる。 3. 脳神経の構造と機能、脳幹の構造と部位の同定、主な伝導路を説明できる。 4. 小脳の構造と部位の同定、小脳の機能を概説できる。 5. 大脳基底核（線条体、淡蒼球、黒質）の構造と部位の同定、線維結合と主なる機能を概説できる。 6. 大脳辺縁系（大脳辺縁系、海馬、扁桃体等）の構造と部位の同定、線維結合と主なる機能を概説できる。 7. 大脳皮質の構造と部位の同定と機能局在（運動野・感覚野・言語野・連合野など）と高次機能を説明できる。			20	50	10	10	10		
		機能系実習	2	1			1. 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止電位を説明できる。 2. 細胞内シグナル伝達過程を説明できる。 3. 薬物の受容体結合と薬理作用との定量的関連性および活性薬・拮抗薬と分子標的薬を説明できる。 4. 心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系、心周期を説明できる。 5. 肺気量と肺・胸郭系の圧・容量関係（コンプライアンス）を説明できる。 6. 腎糸球体における濾過の機序、尿管における再吸収・分泌機構を説明できる。 7. 視覚・聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 8. 脊髄反射運動や錐体路を中心とした随意運動の発現機構を概説できる。			20	50	10	10	10		
○		人体システム情報医学コース	2	4.5	0	0										
		細胞生物エネルギー学	2	1			1. 再生医学への応用の視点から臓器形成メカニズムを概説できる。 2. 糖代謝、解糖、TCA 回路、電子伝達系、酸化的リン酸化によるATP の産生を説明できる。 3. 貯蔵エネルギーとしての脂肪酸の合成と分解を説明できる。 4. コレステロールの合成と生体内での役割を説明できる。 5. 蛋白質の合成と分解、アミノ酸の異化と尿素合成の経路を説明できる。 6. スクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明できる。 7. 酵素の機能と調節について説明できる。 8. 空腹時（飢餓）、食後（過食時）と糖尿病、運動時における代謝を説明できる。 9. エネルギー代謝を調節するホルモンの構造・作用機序、ホルモン分泌の調節機構を説明できる。			30	60					10
		分子細胞生物学	2	1			1. RNA合成、タンパク質の合成および成熟と分解を説明できる。 2. 染色体の構造と遺伝子発現制御を説明できる。 3. DNAの複製と修復およびゲノムの変動を説明できる。 4. 細胞内輸送、細胞骨格、細胞周期と細胞分裂の制御を説明できる。 5. 細胞の情報伝達、細胞分化と細胞死、組織の形成を説明できる。 6. 遺伝子およびがん関連遺伝子と病気を説明できる。 7. 遺伝子工学的手法を説明できる。			30	60				10	

No	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業科目の到達目標	備考	地域・国際対応力	科学的探究力	医療基盤力	総合的診療能力	医療プロフェッショナルリズム	チーム医療力とコミュニケーション能力	自己開発力	
				必修	選択	自由										
		統合薬理学	2	1			1.薬物作用の基本的な様式、原理を理解し、説明できる。 2.生体内薬物動態とそれに関する因子を列挙できる。 3.薬物治療で問題となる薬物と生体の相互作用を説明できる。 4.主な薬物の薬理作用を説明できる。 5.主な薬物の作用点および作用機序を説明できる。 6.主な薬物の有害作用を説明できる。 7.疾患の治療や予防に適した薬物選択を薬理作用と作用機序から説明できる。 8.薬が開発される手順と薬効評価法を説明できる。			30	60					10
		生化学実習	2	1			1.弱酸の中和滴定を行い、滴定曲線と緩衝液のpH緩衝作用を理解する。 2.発色法による蛋白質の定量を行い、その原理と操作法を説明できる。 3.大腸菌DNAの分離と定量を行い、その原理と操作法を説明できる。 4.DNAの電気泳動法による分離と制限酵素によるDNA切断の原理を理解する。 5.組織の解糖活性を測定し、その原理とエネルギー代謝における意義を説明できる。 6.アルカリフォスファターゼによる酵素-基質反応を行い、酵素反応速度論を理解する。 7.血清の蛋白質と脂質を分離し、その原理と蛋白質および脂質の化学的性質を説明できる。 8.尿中の窒素成分を測定し、その原理と蛋白質を含めた窒素代謝全般について説明できる。			20	50	10	10		10	
		細胞生理化学演習	2	1			1.各種の疾病の病態と治療の分子基盤を分子レベルで説明できる。			20	50	10	10		10	
○		細胞生物医学コース	2	5	0	0										
		基礎病理学総論	2	1			1.健康と病気の違いについて説明できる。 2.細胞・組織を障害する刺激因子を列挙し、刺激因子が細胞・組織を障害するメカニズムを説明できる。 3.循環障害、炎症、免疫異常、感染、代謝障害に関する医学用語（梗塞、炎症、アレルギーなど）を正しく理解し説明できる。 4.循環障害、炎症、免疫異常、感染、代謝障害という側面から、病気の成り立ちを説明できる。 5.腫瘍とは何かを説明できる。 6.腫瘍が発生するメカニズムを説明できる。 7.良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。			30	60				10	
		臨床病理学1	2	1			1.循環器系の主要疾患の特徴・成因を説明できる。 2.呼吸器系の主要疾患の特徴・成因を説明できる。 3.神経系の主要疾患の特徴・成因を説明できる。 4.縦隔・感覚器系の主要疾患の特徴・成因を説明できる。 5.血液・造血器・リンパ系の主要疾患の特徴・成因を説明できる。 6.内分泌・栄養・代謝系の主要疾患の特徴・成因を説明できる。			20	60	10			10	
		臨床病理学2	3	1			1.消化器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患についてその病因と病理学的特徴を説明できる。 2.乳腺および女性生殖器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患についてその病因と病理学的特徴を説明できる。 3.腎・泌尿器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患についてその病因と病理学的特徴を説明できる。 4.男性生殖器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患についてその病因と病理学的特徴を説明できる。 5.骨軟部および皮膚に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患についてその病因と病理学的特徴を説明できる。			20	60	10			10	
		病原細菌学	2	1			1.病原細菌の分類、形態、培養について説明できる。 2.病原細菌の分子遺伝学を理解し、複製機構について説明できる。 3.病原細菌の化学療法と薬剤耐性を理解し、説明できる。 4.病原細菌の感染症の診断、鑑別、治療、予防・対策を理解し、説明できる。 5.病原細菌の感染症に関わる法規を理解し、説明できる。		10	20	60				10	
		ウイルス医動物学	2	1			1.構造と性状によりウイルスを分類できる。 2.ウイルス感染の種特異性、組織特異性と病原性を説明できる。 3.主な感染様式の具体例を説明できる。 4.構造と性状によりウイルスを分類できる。 5.主な感染症の原因となる病原体を分類できる。 6.寄生虫の生活史、感染経路と感染疫学的意義を説明できる。 7.寄生虫の診断、治療と予防の概要を説明できる。		10	20	60				10	

No	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業科目の到達目標	備考	地域・国際対応力	科学的探究力	医療基盤力	総合的診療能力	医療プロフェッショナルリズム	チーム医療力とコミュニケーション能力	自己開発力	
				必修	選択	自由										
		病原生物学実習	2	0.5			1. 細菌の構造を図示し、形態と染色性により分類できる。 2. Gram (グラム) 陽性球菌 (ブドウ球菌、レンサ球菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 3. Gram (グラム) 陽性桿菌 (破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 4. Gram (グラム) 陰性桿菌 (大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、チフス菌、ペスト菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、ブルセラ菌、レジオネラ菌、インフルエンザ菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 5. 原虫類・蠕虫類の分類および形態学的特徴を説明できる。 6. 白血球の種類と機能を説明できる。 7. 体液性と細胞性免疫応答を説明できる。		10	20	40			10	10	10
		病理組織実習1	2	1.5			1. 循環器系の主要疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 2. 呼吸器系の主要疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 3. 神経系の主要疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 4. 眼・視覚系の主要疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 5. 血液・造血器・リンパ系の主要疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 6. 内分泌・栄養・代謝系の主要疾患の病理組織学的特徴を説明できる。				40	10	10	10	10	10
		病理組織実習2	3	1.5			1. 消化器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患の病理組織像について説明できる。 2. 乳腺および女性生殖器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患の病理組織像について説明できる。 3. 腎・泌尿器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患の病理組織像について説明できる。 4. 男性生殖器に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患の病理組織像について説明できる。 5. 骨軟部および皮膚に生じる主な先天異常、物質代謝障害、進行性病変、循環障害、炎症および腫瘍性疾患の病理組織像について説明できる。			20	40	10	10	10	10	10
○		病態学総論コース	2・3	8.5	0	0										
		環境・予防医学	2	1			1. 環境が健康に与える影響について理解する。 2. 疾患の発症機序の1つとして環境の影響を理解する。 3. 食中毒について理解する。 4. 大気汚染・土壌汚染・水環境について理解する。 5. 職業がんについて理解する。 6. アレルギー・化学物質過敏症について理解する。		40	10	20		10	10	10	10
		衛生統計・保健医療学	3	1			1. 医学分野における統計を理解する。 2. 産業保険について理解する。 3. 高齢者・母子保健について理解する。 4. 学校保健について理解する。 5. 精神保健福祉について理解する。 6. 国際保険について理解する。		40	10	20		10	10	10	10
		生活習慣病・疫学・地域医療	2	0.5			1. 医療政策について理解する。 2. 生活習慣病の発症機序・予防について理解する。 3. 僻地医療について理解する。 4. 分子疫学を含めた疫学全般について理解する。 5. 国民栄養について理解する。 6. 災害医療について理解する。 7. 感染症について理解する。		40	10	20		10	10	10	10
		法医学	4	1.5			1. 異状死と死体検案について具体的に説明できる。 2. 死亡診断書・死体検案書を適切に作成できる。 3. 死後変化と生活反応を説明できる。 4. 創傷の記載ができ、外因死を列挙して内容を説明できる。 5. 内因死・突然死について説明し、典型例の要点を列挙できる。 6. 法医学とアルコール・アディクション医学の要点を説明できる。 7. 個人識別の方法と多型学の要点を説明できる。		10	10	20	10	30	10	10	10
		社会医学基本実習	3	0.8			1. 職場環境でのメンタルヘルスについて理解する。 2. 大気汚染のリスクについて測定法を理解する。 3. 騒音・振動の身体への影響について理解する。 4. 栄養調査について理解する。 5. 疫学の演習を通じて理解を深める。		30	10	10		10	30	10	
		社会医学課題実習	3	2			1. 過疎地域での医療を理解する。 2. 高齢者の多い地域での保健活動を体験する。		30	10	10		10	30	10	
○		社会医学・地域医療コース	2・3・4	6.8	0	0										
		生命科学テュートリアル	2	1			1. 対象とする分野について独自の視点で問題点を発見することができる。 2. 問題の解決のために科学的根拠となる情報を収集し、学習することができる。 3. 問題解決のための仮説を組み立てることができる。 4. グループ学習により自己学習の内容を改善することができる。 5. 問題点に対する学習内容をまとめ明快にプレゼンテーションを行なうことができる。		5	20	10	5	20	20	20	









No	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業科目の到達目標	備考	地域・国際対応力	科学的探究力	医療基盤力	総合的診療能力	医療プロフェッショナルリズム	チーム医療力とコミュニケーション能力	自己開発力
				必修	選択	自由									
		麻酔・ペインクリニック	4	1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感覚・運動路を説明し、麻酔薬および筋弛緩薬の及ぼす影響を説明できる。</li> <li>2. 主な臓器（脳、心臓、肺）の循環調節と麻酔薬の及ぼす影響を説明できる。</li> <li>3. 循環動態、電解質、酸塩基平衡、血液ガスのデータを解釈し、治療を説明できる。</li> <li>4. 全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌、合併症を説明できる。</li> <li>5. 急性痛と慢性痛の病態生理と治療の問題点を概説できる。</li> <li>6. 周術期管理における輸液・輸血の基本を概説できる。</li> <li>7. 心肺蘇生と集中治療、さらに脳死について概説できる。</li> </ol>		10	10	30	40			10	
		救急医学	4	1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救急医療の現状、機能、体制について概説できる。</li> <li>2. 代表的な救急疾患（中枢神経系、循環器系、呼吸器系、外傷、中毒、その他）の病態生理について説明できる。</li> <li>3. 代表的な救急疾患における症候について説明ができる。</li> <li>4. 代表的な救急疾患における診断方法について説明ができる。</li> <li>5. 代表的な救急疾患における治療法について説明ができる。</li> <li>6. 救急・集中治療の病態に応じた全身管理法について説明ができる。</li> <li>7. 救急・集中治療患者において使用する主な医用機器の種類と原理について説明ができる。</li> </ol>		10	10	30	40			10	
		臨床薬理学	4	0.5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 薬物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる。</li> <li>2. 薬物の生体膜通過に影響する因子を説明できる。</li> <li>3. 薬物投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）を列挙し、それぞれの薬物動態を説明できる。</li> <li>4. 薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。</li> <li>5. 医薬品と医薬部外品について説明できる。</li> <li>6. 医薬品による健康被害を実例を挙げて説明できる。</li> <li>7. 医薬品使用時の医療事故等についての基本的な予防、対処、改善法を説明できる。</li> <li>8. 医学研究と倫理、規制を説明できる。</li> <li>9. 臨床研究・試験、治験の違いを説明できる。</li> <li>10. 副作用と有害事象の違いを説明できる。</li> <li>11. 治験と市販後調査の違いを説明できる。</li> </ol>		10	10	30	40			10	
		リハビリ・緩和・終末期医療	3	0.5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リハビリテーション医学の概念について説明できる。</li> <li>2. 理学療法・作業療法・言語療法について概説できる。</li> <li>3. 循環器疾患・呼吸器疾患のリハビリテーションについて説明できる。</li> <li>4. 運動器疾患のリハビリテーションについて説明できる。</li> <li>5. 社会福祉の概念と社会保障制度（医療保険と福祉医療）について説明できる。</li> <li>6. 緩和医療の位置づけと実践について概説できる。</li> <li>7. 終末期医療の位置づけと実践について概説できる。</li> </ol>		10	10	30	40			10	
		漢方医学	4	0.5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 漢方製剤の使い方・その作用機序・副作用等を概説できる。</li> <li>2. 漢方方剤の機能を科学的に概説できる。</li> <li>3. 東洋医学と西洋医学の診断体系および治療体系の相違を概説できる。</li> <li>4. 気血水と八綱の2つの概念に基づき、東洋医学の病因・病態生理を概説できる。</li> <li>5. 四診と方証相対を概説できる。</li> <li>6. 疾患と漢方方剤の実際の運用について学び、その薬効について説明できる。</li> </ol>		10	10	30	50				
		医療情報・EBM	4	0.5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で表現できる。</li> <li>2. 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。</li> <li>3. 医療の質の評価（質の定義、クリニカルパス）を説明できる。</li> <li>4. 科学的根拠に基づいた医療の評価と検証の必要性を説明できる。</li> <li>5. 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。</li> </ol>			10	40	10			10	30
		放射線腫瘍学	4	0.5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者やその家族の持つ価値観が多様であり得ることを認識しそのいずれにも柔軟に対応できる。</li> <li>2. 悪性腫瘍の病期分類を概説できる。</li> <li>3. 腫瘍の集学的治療を概説できる。</li> <li>4. 腫瘍の放射線療法を概説できる。</li> <li>5. 腫瘍における緩和療法を概説できる。</li> <li>6. 放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。</li> <li>7. 放射線診断・治療による副作用と障害を説明できる。</li> </ol>		10	10	30	40			10	
○		診療学総論コース	3・4	4.5	0	0									
		早期外科体験実習	2	0.5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持針器と鑷子を使って、円滑かつ安全に作業ができる。</li> <li>2. 剪刃を適切かつ安全に使用できる。</li> <li>3. 結紮手技（両手結び、片手結び、深部結紮、器械結紮）が確実にできる。</li> <li>4. 縫合手技（結節縫合、垂直マットレス縫合）ができる。</li> <li>5. 適切な層で剥離操作ができる。</li> <li>6. ベーシックな外科手技を応用し、腸管モデルでの吻合、深部結紮ができる。</li> </ol>			10	10	30	30		10	10

